函館市医療・介護連携推進協議会
情報共有ツール作業部会　第２４回会議

日時：令和８年１０月２９日（木）　１９：００～

場所：函館市医師会病院　５階講堂

【次　第】

１　開　　会

２　議　　事

○報告事項

（１）「はこだて医療・介護連携サマリー」モニタリング集計について（資料１）

（２）「もしもノートはこだて」モニタリング集計について（資料２）

（３）「もしプロアドバイザー」について（資料３，４，５）

○協議事項

（１）「はこだて医療・介護連携サマリー」
見直しや効果等の意見について（資料６）

（２）「もしもノートはこだて」の今後の展開について

３　その他

・次回の部会日程について

４　閉　　会

【配付資料】

１　「はこだて医療・介護連携サマリー」モニタリング集計
２　「もしもノートはこだて」モニタリング集計
３　もしもノート研修会　報告書
４　「もしプロアドバイザー」登録状況
５　第３回もしもノート研修会　案内リーフレット
６　「はこだて医療・介護連携サマリー」見直しや効果等の意見について

函館市医療・介護連携推進協議会　情報共有ツール作業部会
第２４回会議　出席者名簿

※★…部会長および副部会長　○…幹事　（敬称略）

分　野	所属団体	氏　名	勤務先
医　療	公益社団法人　函館市医師会	○幹事 森田　智	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人　函館歯科医師会	中野　敏昭	中野デンタルクリニック
	一般社団法人　函館薬剤師会	星野　志津代	(有)みすず調剤薬局　宮前店
	公益社団法人　北海道看護協会　道南南支部	柴田　香奈美	公益社団法人 函館市医師会 函館市医師会病院
	道南在宅ケア研究会	岡田　晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック
	函館地域医療連携実務者協議会	★部会長 亀谷　博志	社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院
		熊倉　慎治	市立函館病院　事務局
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会　南支部	石井　義人	社会医療法人 高橋病院
介　護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	青木　美香 ※欠席	居宅介護支援事業所　花笑み
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	松野　陽	函館市地域包括支援センターたかおか
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	吉荒　龍哉 ※欠席	介護老人保健施設 ケンゆのかわ
	北海道訪問看護ステーション連絡協議会 道南支部	保坂　明美	訪問看護ステーション フレンズ

函館市

資料1

情報共有ツール作業部会　はこだて医療・介護連携サマリー　モニタリング
○活用状況調査集計結果　　R7.7.1～R8.6.30分

≪所属機関≫

種　別	第16回 R7.7.1～R8.6.30分 (n=96) 配布件数（a）	回収件数（b）	種別ごと回収率（b）/（a）	第15回 R6.7.1～R7.6.30分 (n=134) 配布件数（a）	回収件数（b）	種別ごと回収率（b）/（a）	第14回 R6.7.1～R6.12.31分 (n=128) 配布件数（a）	回収件数（b）	種別ごと回収率（b）/（a）
① 入院医療機関	24 件	11 件	46%	24 件	17 件	71%	24 件	17 件	71%
② 居宅介護支援事業所	94 件	32 件	34%	92 件	36 件	39%	94 件	40 件	43%
③ 包括支援センター	10 件	7 件	70%	10 件	7 件	70%	10 件	6 件	60%
④ 訪問看護	43 件	10 件	23%	41 件	18 件	44%	37 件	10 件	27%
⑤ 短期入所生活介護	26 件	5 件	19%	27 件	4 件	15%	28 件	7 件	25%
⑥ 短期入所療養介護	11 件	0 件	0%	11 件	0 件	0%	11 件	0 件	0%
⑦ 特定施設入居者生活介護	11 件	3 件	27%	11 件	7 件	64%	12 件	5 件	42%
⑧ 小規模多機能型居宅介護	17 件	2 件	12%	17 件	3 件	18%	19 件	6 件	32%
⑨ 認知症対応型共同生活介護	48 件	5 件	10%	47 件	7 件	15%	47 件	9 件	19%
⑩ 地域密着型特定施設入居者生活介護	13 件	4 件	31%	13 件	7 件	54%	13 件	5 件	38%
⑪ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5 件	0 件	0%	5 件	1 件	20%	5 件	1 件	20%
⑫ 看護小規模多機能型居宅介護	5 件	1 件	20%	4 件	2 件	50%	5 件	0 件	0%
⑬ 介護老人福祉施設	17 件	6 件	35%	17 件	8 件	47%	17 件	8 件	47%
⑭ 介護老人保健施設	8 件	4 件	50%	8 件	4 件	50%	8 件	2 件	25%
⑮ 介護医療院	4 件	1 件	25%	4 件	2 件	50%	4 件	1 件	25%
⑯ サ付・有料	84 件	5 件	6%	84 件	11 件	13%	84 件	11 件	13%
合　計	**420 件**	**96 件**		**415 件**	**134 件**		**418 件**	**128 件**	
Googleフォーム回答（内数）		（50） 件			（33） 件			（33） 件	

（1）貴所属機関では，「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下「サマリー」と表記）を作成し，情報共有に活用されたことがありますか。

項　目	第16回 R7.7.1～R8.6.30分 受取件数	割合	第15回 R6.7.1～R7.6.30分 受取件数	割合	第14回 R6.7.1～R6.12.31分 受取件数	割合	第13回 R6.1.1～R6.6.30分 受取件数	割合	第12回 R5.7.1～R5.12.31分 受取件数	割合
① はい	61 件	64%	76 件	57%	69 件	54%	66 件	55%	79 件	54%
② いいえ	35 件	36%	58 件	43%	59 件	46%	55 件	45%	68 件	46%
合　計	**96 件**		**134 件**		**128 件**		**121 件**		**147 件**	



・②いいえの理由。

項　目	第16回 R7.7.1～R8.6.30分 受取件数	割合	第15回 R6.7.1～R7.6.30分 受取件数	割合	第14回 R6.7.1～R6.12.31分 受取件数	割合	第13回 R6.1.1～R6.6.30分 受取件数	割合	第12回 R5.7.1～R5.12.31分 受取件数	割合
■活用していないとの回答のうち	**35 件**		**58 件**		**59 件**		**55 件**		**68 件**	
① 機会がない	6 件	17%	9 件	16%	12 件	20%	8 件	15%	13 件	19%
② 今後使用予定	0 件	0%	1 件	2%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
③ 準備ができていない	2 件	6%	0 件	0%	1 件	2%	2 件	4%	3 件	4%
④ 既存の書式を利用	8 件	23%	24 件	41%	21 件	36%	23 件	42%	17 件	25%
⑤ 電子カルテで管理している	0 件	0%	5 件	9%	7 件	12%	3 件	5%	2 件	3%
⑥ その他	5 件	14%	16 件	28%	9 件	15%	12 件	22%	16 件	24%
⑦ 未回答	14 件	40%	3 件	5%	9 件	15%	7 件	13%	17 件	25%



（2） (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。

ア どのくらいの頻度でお使いですか。（複数回答あり）

項 目	第16回 R7.7.1~R8.6.30分		第15回 R6.7.1~R7.6.30分		第14回 R6.7.1~R6.12.31分		第13回 R6.1.1~R6.6.30分		第12回 R5.7.1~R5.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① 入退院（所）支援のたび毎回作成	43 件	46%	50 件	55%	41 件	53%	35 件	49%	40 件	45%
② 全件では作成していないが，対象者を選定（または限定）して作成	43 件	46%	30 件	33%	30 件	38%	26 件	37%	36 件	40%
③ その他	7 件	7%	11 件	12%	7 件	9%	10 件	14%	13 件	15%
④ 未回答	1 件	1%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
合 計	94 件		91 件		78 件		71 件		89 件	



イ 入退院（所）支援の際，事前に相手先にサマリーを提供していますか。（緊急入院は除く）

項 目	第16回 R7.7.1~R8.6.30分		第15回 R6.7.1~R7.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① はい	49 件	80%	63 件	83%
② いいえ	10 件	16%	11 件	14%
③ 未回答	2 件	3%	2 件	3%
合 計	61 件		76 件	



ウ サマリーを活用した情報連携の効果をお聞かせください。

項 目		第16回 R7.7.1~R8.6.30分		第15回 R6.7.1~R7.6.30分	
		受取件数	割合	受取件数	割合
・事前にサマリーを受けたことで支援やカンファレンスの準備ができた	①はい	44 件	72%	62 件	79%
	②いいえ	6 件	10%	2 件	3%
	③わからない	7 件	11%	10 件	13%
	④未記入	4 件	7%	4 件	5%
	合 計	61 件		78 件	
・カンファレンス（担当者会議）の時間短縮になった	①はい	30 件	49%	42 件	54%
	②いいえ	9 件	15%	7 件	9%
	③わからない	15 件	25%	24 件	31%
	④未記入	7 件	11%	5 件	6%
	合 計	61 件		78 件	
・支援チーム（病院や在宅・施設）の中で統一したケアを実施できた	①はい	39 件	64%	54 件	69%
	②いいえ	2 件	3%	2 件	3%
	③わからない	15 件	25%	16 件	21%
	④未記入	5 件	8%	6 件	8%
	合 計	61 件		78 件	

≪その他感じる効果がありましたらお聞かせください≫

- 統一した必要適切な情報提供ができること。（他に１件同意意見あり）
- 相談員とは情報共有できた
- 退院時や区変必要時に連絡をもらえる。
- 効果の検証はできていませんが、効果はあるものと考えています。
- 統一したケアの実施について確認はできていないが、それが出来ていると想定されます。
- こちら側から情報提供することで、相手からも連絡や情報をもらうことが多くなった
- 同ツールを使用した情報提供を受ける立場としては、提供元により情報量のばらつきを感じる。
- 電話では聞き取れなかった情報、聞き漏れ(お互いに)あるが、サマリーがある事で、もれなく記載している。とても助かっております。
- サマリーは退院時に受け取ることが多いため、退院前の支援調整やカンファレンス準備に活用することが多くありません。今後事前に共有いただけるとより円滑な支援調整につながると思います。

※ 当設問に寄せられた効果以外の貴重なご意見つきましては，下記の「見直し等の意見」に掲載しております。

（3） マイナーチェンジ後のサマリーを活用されてみましたか

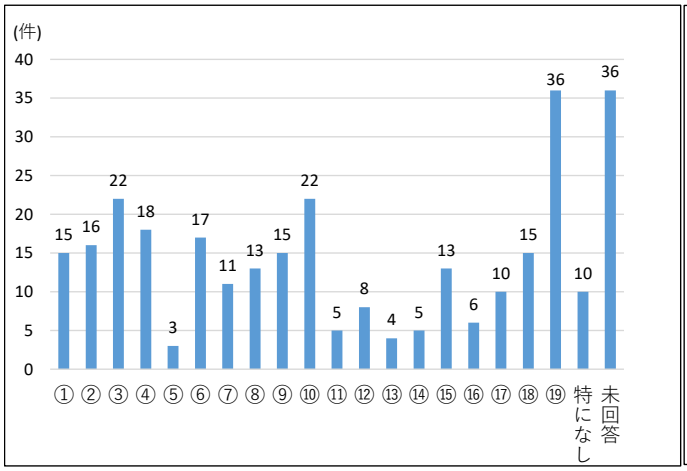
項　目	第１６回 R7.7.1～R8.6.30分		第１５回 R6.7.1～R7.6.30分	
	受取件数	割合	受取件数	割合
① はい	38 件	62%	63 件	83%
② いいえ	21 件	34%	11 件	14%
③ 未回答	2 件	3%	2 件	3%
合　計	61 件		76 件	



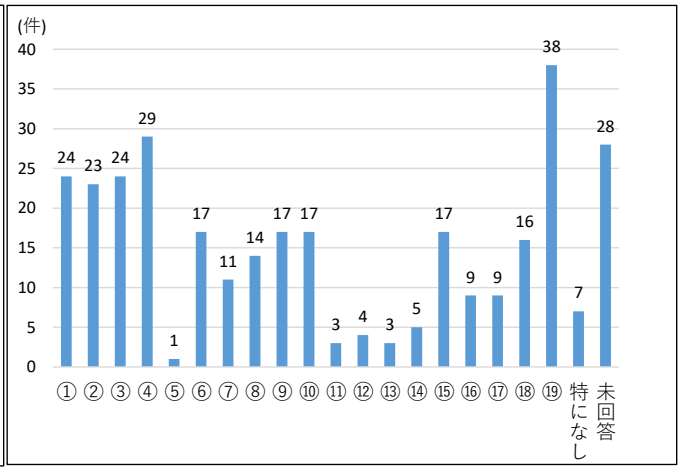
（4） これまでに「応用ツール」の中で，活用したことがあるもの，もらって助かったものを教えてください。

応用ツールの種類等	第１６回 R7.7.1～R8.6.30分				第１５回 R6.7.1～R7.6.30分			
	活用したことがある		受け取って助かった		活用したことがある		受け取って助かった	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
① 付帯情報管理	15 件	5%	24 件	8%	25 件	8%	24 件	8%
② 褥瘡管理	16 件	5%	23 件	7%	20 件	6%	20 件	7%
③ 認知症管理応用ツール	22 件	7%	24 件	8%	36 件	11%	27 件	9%
④ 食事摂取・栄養管理	18 件	6%	29 件	9%	20 件	6%	25 件	8%
⑤ 自己腹膜灌流管理	3 件	1%	1 件	0%	3 件	1%	3 件	1%
⑥ 酸素療法管理	17 件	6%	17 件	5%	18 件	6%	14 件	5%
⑦ 中心静脈栄養法管理	11 件	4%	11 件	3%	7 件	2%	7 件	2%
⑧ 糖尿病治療管理	13 件	4%	14 件	4%	15 件	5%	15 件	5%
⑨ 経管栄養法管理	15 件	5%	17 件	5%	15 件	5%	15 件	5%
⑩ 膀胱留置カテーテル管理	22 件	7%	17 件	5%	26 件	8%	22 件	7%
⑪ 自己導尿管理	5 件	2%	3 件	1%	5 件	2%	5 件	2%
⑫ 腎瘻・尿管皮膚瘻管理	8 件	3%	4 件	1%	7 件	2%	6 件	2%
⑬ 人工呼吸療法管理	4 件	1%	3 件	1%	3 件	1%	4 件	1%
⑭ 気管カニューレ管理	5 件	2%	5 件	2%	3 件	1%	2 件	1%
⑮ 人工肛門・人工膀胱管理	13 件	4%	17 件	5%	16 件	5%	13 件	4%
⑯ 感染に関する管理	6 件	2%	9 件	3%	4 件	1%	5 件	2%
⑰ 緩和ケア情報共有シート(MOPN)	10 件	3%	9 件	3%	5 件	2%	13 件	4%
⑱ 本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報	15 件	5%	16 件	5%	13 件	4%	21 件	7%
⑲ 特記事項	36 件	12%	38 件	12%	38 件	12%	30 件	10%
特になし	10 件	3%	7 件	2%	18 件	6%	14 件	5%
未回答	36 件	12%	28 件	9%	19 件	6%	17 件	6%
合　計	300 件		316 件		316 件		302 件	

グラフ１：活用したことがある応用ツール

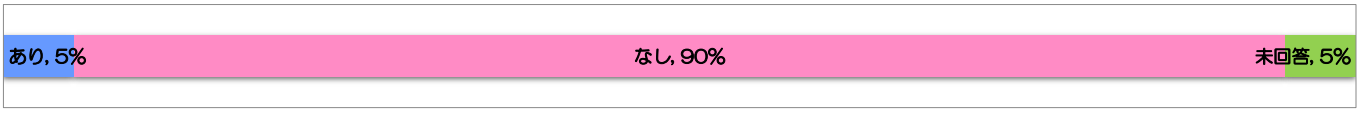


グラフ２：受け取って助かった応用ツール



（5） 「サマリー」の内容について，見直しが必要な箇所があると思われますか。

項　目	第１６回 R7.7.1～R8.6.30分		第１５回 R6.7.1～R7.6.30分		第１４回 R6.7.1～R6.12.31分		第１３回 R6.1.1～R6.6.30分		第１２回 R5.7.1～R5.12.31分	
	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合	受取件数	割合
① あり	5 件	5%	13 件	10%	10 件	8%	6 件	5%	6 件	4%
② なし	86 件	90%	108 件	81%	97 件	76%	85 件	70%	119 件	81%
③ 未回答	5 件	5%	13 件	10%	20 件	16%	30 件	25%	22 件	15%
合　計	96 件		134 件		127 件		121 件		147 件	



○　作成しない理由

≪医療機関≫

- 当院所定様式使用のため（他に１件同意見あり）
- 入院対象者が多く、事前の情報提供まで手が回らない。また、入院時に担当ケアマネが把握できていない場合もあるため。

≪居宅介護支援事業所≫

- 他の書式で提供している為（他に１件同意見あり）
- 入院したとわかってから提供
- 受け取る事はあってもこちらからは作成しない
- 入院の場面がなかった為、退院前には提供あり
- 日常作成しなければならない書類が多く手がまわらない
- 提出:全てが事前ではない　受け取り:事前にもらったことはない
- 事前に病院へ送る事は少ないです。当日までには提供できるようにしています。

≪包括支援センター≫

- 緊急の入院のため
- 求められた時のみ
- 失念していることがある
- 基本情報の提供のみが多い
- 既存のツールを使用することが多いです
- 電話連絡等にて本人の状況状況をお伝えし、サマリーの送付に至っていない事が多い。
- 仕事が煩雑なためサマリー作成時間がない。必要な時は実能調査（把握）で作成して送付する

≪訪問看護≫

- 精神科の訪問が多く使用することが少ないため

≪介護老人福祉施設≫

- 活用する機会がなかったため（他に１件同意見あり）
- 既存の書式で情報共有していた
- ショートステイは家族さんが対応してくれる為

≪特定施設入居者生活介護≫

- 特に機会がなかったため
- 施設の形式を使用

≪認知症対応型共同生活介護≫

- 入所前情報として受け取ることはあります
- 自法人にて書式があるため

≪介護老人福祉施設≫

- 施設の書式を活用している（他に１件同意見あり）
- 他事業所などからの情報共有時に使用されなかったので

≪介護老人保健施設≫

- 施設の書式を活用している
- 他事業所などからの情報共有時に使用されなかったので

≪サ付・有料≫

- サマリー作成を行わないため
- 医療機関との連携はケアマネが対応しているため

○　見直しや効果等の意見

≪医療機関≫

- もう少し具体的なADLが分かると助かります。あと食事摂取状況も。
- 内容は全て埋めていただけると助かります。

≪居宅介護支援事業所≫

- 家族構成図
- 病歴の欄がもっとほしい

≪包括支援センター≫

- 見づらい
- 使用者によると思いますが連絡先のTELナンバーがFAXでつぶれてしまい結局MSWへTELして確認という事が稀にあります。ジェノグラムがあれば良いです。

≪訪問看護≫

- サマリーをもう少し上手く活用できないかと考えてます。在宅医とリンクが繋がっていて急性期に入院するとそことリンクが繋がってないのでサマリーを添付して送れない。そこで急性期と繋げる必要性が出てくる。そこに時点のロスをなんとかしたいかな。

≪介護老人福祉施設≫

- 入院時に施設より連携サマリーを提出することがきっかけで、施設は医療連携室へ連絡を行いやすくなると感じます。入院１週間以内を目安に連絡を取り合うと、本人の入院状況の把握もし易く今後の方向性について、担当MSWより連絡を頂きやすくなると感じました。令和８年７月に函脳外さんへ救急搬送された入居者様のケースで、施設より連絡を行ってみると連絡がスムーズでした。また、入院対象の入居者様の治療方針やご家族の応対、今後の転院予定などを担当ＭＳＷさんより連絡を頂きました。日頃、グループ内の病院の入退院がメインですが、外部医療機関の場合は提供した施設側より連絡を行いやすくなることがメリットになるのではないかと感じました。一例でしたが、連携サマリー活用について、ご報告をさせていただきます。

函館市

資料2

もしもノートはこだて　モニタリング
○活用状況調査集計結果　R7.7.1～R8.6.30分

≪所属機関≫

所属機関種別	第2回 R7.7.1～R8.6.30分 (n=130) 事業所件数	回答人数	回答率	第1回 R5.12.1～R7.6.30分 (n=182) 事業所件数	回答人数	回答率
① 病院	24 件	13 件	10%	24 件	18 件	10%
② 診療所	147 件	12 件	9%	147 件	23 件	13%
③ 居宅介護支援事業所	94 件	37 件	28%	92 件	45 件	25%
④ 包括支援センター	10 件	24 件	18%	10 件	32 件	18%
⑤ 訪問介護	88 件	7 件	5%	88 件	4 件	2%
⑥ 訪問入浴介護	4 件	0 件	0%	4 件	0 件	0%
⑦ 訪問看護	43 件	8 件	6%	41 件	13 件	7%
⑧ 訪問リハビリテーション	16 件	0 件	0%	16 件	0 件	0%
⑨ 通所介護	86 件	2 件	2%	86 件	2 件	1%
⑩ 通所リハビリテーション	16 件	0 件	0%	16 件	0 件	0%
⑪ 短期入所生活介護	26 件	3 件	2%	27 件	3 件	2%
⑫ 短期入所療養介護	11 件	0 件	0%	11 件	0 件	0%
⑬ 特定施設入居者生活介護	11 件	1 件	1%	11 件	5 件	3%
⑭ 福祉用具貸与	22 件	1 件	1%	22 件	1 件	1%
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16 件	0 件	0%	16 件	0 件	0%
⑯ 小規模多機能型居宅介護	17 件	2 件	2%	17 件	2 件	1%
⑰ 認知症対応型共同生活介護	48 件	3 件	2%	47 件	5 件	3%
⑱ 地域密着型特定施設入居者生活介護	13 件	4 件	3%	13 件	5 件	3%
⑲ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5 件	0 件	0%	5 件	1 件	1%
⑳ 看護小規模多機能型居宅介護	5 件	0 件	0%	4 件	0 件	0%
㉑ 介護老人福祉施設	17 件	6 件	5%	17 件	6 件	3%
㉒ 介護老人保健施設	8 件	1 件	1%	8 件	5 件	3%
㉓ 介護医療院	4 件	1 件	1%	4 件	3 件	2%
㉔ サ付・有料	84 件	3 件	2%	84 件	9 件	5%
㉕ 障がい福祉関係	116 件	2 件	2%			
合　計	931 件	130 件		810 件	182 件	
Googleフォーム回答（内数）		(66)件			(44)件	

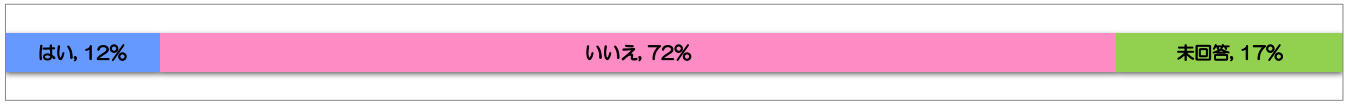
（1）『もしもノートはこだて』(以下「もしもノート」と表記)をご覧になったことがありますか。

項　目	第2回 R7.7.1～R8.6.30分 回答人数	割合	第1回 R5.12.1～R7.6.30分 回答人数	割合
① はい	102 件	78%	107 件	59%
② いいえ	22 件	17%	75 件	41%
③ 未回答	6 件	5%	0 件	0%
合　計	130 件		182 件	



（2）日常の療養支援において「もしもノート」を活用する機会はありましたか。

項　目	第2回 R7.7.1～R8.6.30分 回答人数	割合	第1回 R5.12.1～R7.6.30分 回答人数	割合
① はい	15 件	12%	19 件	18%
② いいえ	93 件	72%	88 件	82%
③ 未回答	22 件	17%	0 件	0%
合　計	130 件		107 件	



・(2)の回答の内訳

所属機関種別	第2回 R7.7.1～R8.6.30分				第1回 R5.12.1～R7.6.30分			
	はい		いいえ		はい		いいえ	
	回答人数	割合	回答人数	割合	回答人数	割合	回答人数	割合
① 病院	2 件	13%	11 件	12%	1 件	5%	11 件	13%
② 診療所	0 件	0%	10 件	11%	3 件	16%	6 件	7%
③ 居宅介護支援事業所	4 件	27%	25 件	27%	6 件	32%	27 件	31%
④ 包括支援センター	2 件	13%	20 件	22%	0 件	0%	20 件	23%
⑤ 訪問介護	0 件	0%	6 件	6%	5 件	26%	4 件	5%
⑥ 訪問入浴介護	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
⑦ 訪問看護	4 件	27%	2 件	2%	1 件	5%	2 件	2%
⑧ 訪問リハビリテーション	0 件	0%	1 件	1%	0 件	0%	1 件	1%
⑨ 通所介護	0 件	0%	2 件	2%	0 件	0%	0 件	0%
⑩ 通所リハビリテーション	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	1 件	1%
⑪ 短期入所生活介護	0 件	0%	2 件	2%	0 件	0%	0 件	0%
⑫ 短期入所療養介護	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
⑬ 特定施設入居者生活介護	0 件	0%	1 件	1%	0 件	0%	2 件	2%
⑭ 福祉用具貸与	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	1 件	1%
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
⑯ 小規模多機能型居宅介護	0 件	0%	2 件	2%	0 件	0%	0 件	0%
⑰ 認知症対応型共同生活介護	1 件	7%	1 件	1%	0 件	0%	1 件	1%
⑱ 地域密着型特定施設入居者生活介護	0 件	0%	4 件	4%	1 件	5%	2 件	2%
⑲ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	1 件	1%
⑳ 看護小規模多機能型居宅介護	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%
㉑ 介護老人福祉施設	2 件	13%	3 件	3%	2 件	11%	2 件	2%
㉒ 介護老人保健施設	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	3 件	3%
㉓ 介護医療院	0 件	0%	0 件	0%	0 件	0%	1 件	1%
㉔ サ付・有料	0 件	0%	1 件	1%	0 件	0%	3 件	3%
㉕ 障がい福祉関係	0 件	0%	2 件	2%				
合 計	15 件		93 件		19 件		88 件	

○活用の場面

≪病院≫

- ご家族にACPなどの概念を伝える前の参考資料として
- 終末期がんの訪問看護が始まる契約時にご家族と本人へ説明しました

≪居宅介護支援事業所≫

- ご家族から「もしも」の内容の話が出た際に活用した
- 元気な時に、普段の会話の中でも聞くようにしている
- 本人の意向を明確にしておくことで、認知機能低下時等に活用できる為
- 本人は死にたい、家族は一秒でも長く生きてほしい、の気持ちをすり合わせるように家族に紹介した

≪包括支援センター≫

- 利用者さんの今後の方向性を考えるときのツールとしてご家族と本人へお渡ししました。
- 過去に就労していた高齢者施設でのケースワーク場面で活用。自立度の高い入居者が将来への懸念を示した際に活用。家族と話し合うきっかけになった。その他、複数の入居者が関心を示し配布した経緯あり。現職に就いてからは日が浅く活用機会なし。

≪訪問看護≫

- 新規契約時、状態変化時
- 家で最期までと心に決めた時
- 利用者へACPの確認の場面で渡した
- ご家族が、今後について悩んでいる時

≪認知症対応型共同生活介護≫

- 入所者様のアセスメントに職員へ説明し、詳しい意向を知るツールとして使用したことがあります

≪老人福祉施設≫

- 入所時に、希望する医療や終末期への考えの確認時に活用
- 施設入所者様（看取り時）IC後、家族に説明を行いわかる範囲で記入した

〇活用していない理由

≪病院≫

- 活用しなくても入院時に意向確認を行っているため
- 患者（利用者）に意向を確認する機会を持てていない
- 身近にもしもノートがなかったので内容が分からなかった
- 対応したケースにおいては、面接場面等で確認作業ができたため
- 当該部署のスタッフは、活用しなくても患者、家族と意向確認ができています
- 当院の機能や特性上，既に他院でDNARの取得がなされていることが多く使用の機会がありません
- 意向確認はしている一方で、ノートに落とし込む情報まで至らず、FAXや口頭にて引継ぐことが多い
- MOPNの私のカルテを使うことが多いです。また、ツールを電子カルテにて活用することもありました。私のカルテの活用も検討したいです
- 聞き取り内容の一定の統一は必要と感じますしそのためツール活用することも必要と思いますが、ノートを用いての意向確認まで至らず他職種での関わりの中でそれぞれが聴取して完結している

≪診療所≫

- 直近でACPを行う事がなかった
- 直接対話で確認しておりました（他に１件同意見あり）
- 外来ではなかなか活用する機会がない
- まずは、包括に相談・ケアマネに繋いでいただいている為
- 活用しなくても患者（利用者）と意向確認の対話をできている等
- 患者さんに対応する中で患者さんに意向を確認する機会が持てていない

≪居宅介護支援事業所≫

- 時間を充分に持てない
- 特に必要とする機会がなかった
- 利用するタイミングがなかった（他に１件同意見あり）
- 活用しなくても意向確認を行う環境にある
- もしもノートを使わなくても確認とれたため
- 特に活用しなくても意向確認は行っている
- 利用者に意向を確認する機会を持てていない
- 活用が必要となる利用者がいなかったため
- ご本人・家族に意向を確認するような機会がなかった
- 訪問するなかでの会話により意向確認をするようにしている

≪包括支援センター≫

- 対象者に意向を確認する機会を持てていない
- 自立相談支援機関で必要とする対象がいなかった
- 患者（利用者）に意向を確認する機会を持てていない
- 要支援レベルの人にこの話題を急に出すのは違和感がある
- 利用者と意向確認の対話ができているため，活用する機会がないため
- ケースに出会っていない。サロン等での周知、話し合いの場を設けたいが、まだ機会がない
- 生活環境が大きく変わるタイミングや、周辺の環境が変わったタイミングがあればお伝えしやすい、そのような環境がなく話すタイミングが難しい

≪訪問介護≫

- 対話ができる
- 利用者様に意向を確認する機会がありませんでした
- 訪問介護の仕事で利用者に意向を確認する機会を持てていない
- 活用しなくても患者（利用者）と意向確認の対話をできている等
- 利用者様に意向を確認する機会をなかなか持てていない場合がある。サービス担当者会議等の時に、ご本人様・ご家族様がもしもの時の話を決められている方もいます

≪訪問看護≫

- 意思確認の対話をできている
- 患者（利用者）に意向を確認する機会を持てていない

≪通所介護≫

- 活用する状況にあってない
- 利用者に意向を聞く機会がもてなかった

≪短期入所生活介護≫

- これから活用したいと思います
- 看取りなど行っておらず、なかなか活用する機会がないから

≪特定施設入居者生活介護≫

- ご利用者に意向を確認する機会を持てていない

≪小規模多機能型居宅介護支援事業所≫

- 利用者に意向を確認する機会がなかった

≪認知症対応型共同生活介護≫

- 利用者さんに意向を確認する機会を持てていないため

≪地域密着型特定施設入居者生活介護≫

- 日常的に対応し、都度意向確認が出来ていた
- 活用しなくても独自のフォームで確認できている
- 活用しなくても患者（利用者）と意向確認の対話をできている等
- 認知症の方が多く入居者されており、ノートを書くときの考えと、死に直面しているときの思いに乖離が起きやすいと考えている

≪老人福祉施設≫

- 意向を確認する機会がなかった
- 利用者さんに意向を確認する機会を持てていないため

≪介護老人保健施設≫

- 利用者に意向を確認する機会を持てていない
- あらためて、意向を確認する機会を持てていない

≪放課後等デイサービス≫

- 利用は小学生がメインであり、保護者様への声がけをまだ行っていないため職員には周知している。

(3)「もしもノート」についての意見

≪病院≫

- 今後、試行的にでも利用をしていきたいと考えています
- 他の職種（臨床心理士など）にも伝えるべきかもしれません
- 施設では必ず必要な内容だと思うので、とてもいいと思います
- 今後、院内で手に取ってもらいやすい工夫など活用を検討したいと思います
- 他の医療機関での実際の活用例など事例があれば掲載などして欲しい
- もう少し文字を少なくしたら高齢の方も見やすいのではと思います
- 患者さん、利用者さんの気持ちを汲み取れるツールになることを期待したいです
- 地域のたくさんの方々の目に触れられるよう、行政を含めた関係機関で積極的な啓発活動が必要
- わかりやすく医療従事者が人生会議のことをわからない患者・家族に説明するのに活用できると思う
- 人生について思いを聞くため導入する内容としていい内容なので医療機関でも更に普及してほしい
- 患者さんにとっての良きツールとしてご案内したいと思ってはいるのですが、現場事情を考えるとなかなか浸透できずにいます
- もしもノートは元気なうちに作成しておくことが望ましいと思います、本人の希望や価値観を家族や医療・介護関係者と共有でき、希望に沿った支援に繋がると考えるからです

≪診療所≫

- 全体把握がしやすくて良いです
- 現在の多死社会において一人でも多くの人が自分が望んだ最期に近づけるように考えたり準備する時、もしもノートのような資料を活用できれば意思表示しやすいと思います。患者さんに話をしたとき、もしもノートのように選択肢から選んでいく方法だとハードルも下がり、話し合いのきっかけになりやすいと思いました

≪居宅介護支援事業所≫

- 良いものだと思います
- 機会があれば、検討したいと思います（他に１件同意見あり）
- 活用に向けて努力したいと思います（他に１件同意見あり）
- 治療方針や場所などのその時の希望が明確になりました
- なかなか聞きにくいことを網羅していて使っていけると思う
- 本人の伝えたいことや希望の発信があればとても良いツールと思う
- もしもノートがあることで、介入の機会ができてよいと思います
- もしもの時に備えて、皆で確認出来て対応出来る仕組みはとてもよいと思います
- もしもノートを活用して、これからの利用者様との関わりに生かせたいと思います
- 皆さんがもしもノートに触れる機会を作る必要があると思います。独居の方、身寄りのいない方には必須であると考えます
- 活用したいと思います。終活しているという利用者さんにもタイミングがあれば見せて聞き取りの糸口にしたいと思います
- 今後、身寄りがなく緊急連絡先がない方への支援において、本人の意向を確認・共有するために活用したいと考えています
- 居宅内で話し合ったがケアマネから話すには、正直抵抗がある。ご本人、家族の考えも変わるのではないか？確認もしづらい
- 本人は死にたい。家族は一秒でも長く生きてほしい。というケースでは本人・家族間で考えを一致させることが出来て助かった。訪看さんも先生も知っているノートなので皆で情報共有できた。
- ノートになっていてわかりやすいと思います。利用者さんは、ステップ３、４のところが難しく最後は看取りでもと思っていても自宅でできる医療行為等、点滴をするかどうか喀痰吸入するか想定が難しいと時々感じます。
- 先日の研修で改めて『もしもノート』について勉強させていただきましたので、今後の支援に活用したいです。タイミングをみながら、利用者やご家族に渡して、見てもらうのも考えを整理するひとつのきっかけになるかなと思いました。

≪地域包括支援センター≫

- 機会があったら利用してみたいと思います。（他に１件同意見あり）
- １ページ目が見づらい。説明するにしても長すぎる。
- 引き続きACPの考えが地域に浸透するような活動を期待します。
- 対象者はいませんが、出前講座等で周知はしています。終活や将来への備えは関心が高いです。
- ご家族がこのノートに感謝していました。とても良いノート（資源）です。ありがとうございました。
- 改めて、活用したいと思っている。現在元気な高齢者等を担当しているが、元気なうちにこそ記入しておいて、よく考えていて欲しい事。
- 文章が多くて読むのが大変かと思います。Googleフォームなどで作成したものを読み、回答したものが残っていくなど何か良い方法があればいいかなと思います。
- 支援対象が生活困窮者のため，支援中に「もしもノート」を活用する機会があまりありませんでした。長期的にみた際に生活が安定した後なら活用できるかもしれません。
- 人生会議について現状では知らない人が多いと思います。市の作成した「おくやみハンドブック」のようにもっとオープンに対話できるツールとして周知活動してよいと思います。

≪訪問介護≫

- 何かの時に使用させて頂きます。なかなかタイミングが今までなかったので

≪訪問看護≫

- もう少し絵本の様なデザインが追加されるといいですかね
- 全て必要な説明ではあると思いますが、内容がやや細かくて理解できるまでじっくり読むことができるかな？という気がします。余命宣告をされるずっと以前から意識して活用できると良いかと思う
- 日ごろから本人の今後の大切にしたいことや思いを聞く事は、在宅でのサービス提供期間として役割は大きい。地域全体が意識して、人生会議を行っていく波が下火にならないように継続していきたいと思います

≪短期入所生活介護≫

- 仕事で活用する機会はなかなかありませんが、自分の身内などのことを考えると参考になりました

≪認知症対応型共同生活介護≫

- 何かあってからでは確認出来ないこともあるので、事前に確認できることは良いと思います

≪地域密着型特定施設入居者生活介護≫

- わかりやすく、みやすく、施設入居前に記入しておいて貰えたら大変助かるものだと思います。
- 体に負担のかかる治療についての説明でリスクや負担についての記載が軽く見えてしまう上に高齢者には分かりづらい内容に見える。知識のある人間が補足で説明しなければならず、説明した人間に責任を丸投げしているように感じた

≪老人福祉施設≫

- 先日、もしもノート活用研修会へ参加させていただきました。今後の計画として、入居者の現状確認を行う際に【もしもノート】を活用したいと考えております。活用に向けた確認を行っていきたい。

≪介護老人福祉施設≫

- 具体的な説明でとてもわかりやすい内容だと思います。
- もしもノートを使用することで本人に対する家族の気持ちを整理できる。本人意思決定を考えるきっかけとなる。本人の今まで生きてきた思いやりや気持ちを話すことができる（家族・スタッフなど）

≪介護医療院≫

- 患者様に活用したことはないですが、自分の家族にはすすめたいと思います

≪放課後等デイサービス≫

- 誰にでも起こりうることですし、もしもノートを活用することで自分や自分の周りの人達の役に立つと思うので、タイミングを見ながら配布していこうと思います
- 対象が子供たちの事務所ですが、子供たちが各々ハンデと向き合いながら大人になり、やがて高齢になった時、この子たちだからこそより必要な会議だと思いました

資料3

〇報告事項

1.　もしもノート研修会　進捗状況

（1）令和７年度　もしもノート研修会

令和８年３月４日（水）１８：３０～２０：００　参加人数：29 名

函館 サーモン・まるなまホール （函館市民会館　大会議室）

テ ー マ：「地域で取り組む ACP」

対　　象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

函館市の障がい福祉関係者

座　　長：函館中央病院　事務次長　亀谷　博志　様

講　　師：市立函館病院　緩和ケア科科長　山崎　裕　先生

訪問看護ステーションフレンズ

統括所長　保坂　明美　様

（2）第２回　もしもノート研修会

令和８年７月14日（火）１８：３０～２０：３０　参加人数：40 名

市立函館病院（２階講堂）

座　　長：函館市地域包括支援センターたかおか

施設長　松野　陽　様

講　　師：市立函館病院　緩和ケア科科長　山崎　裕　先生

市立函館病院　患者サポートセンター

入退院支援係長　熊倉　慎治　様

進 行 役：訪問看護ステーションフレンズ

統括所長　保坂　明美　様

（3）第３回　もしもノート研修会

令和８年１２月14日（月）１８：３０～２０：３０　申込定員：約 50 名

函館市医師会病院（５階講堂）

座　　長：中野デンタルクリニック　院長　中野　敏昭　先生

講　　師：市立函館病院　緩和ケア科科長　山崎　裕　先生

小規模多機能ホームらしさ七重浜

ホーム長　波並　孝　様

進 行 役：市立函館病院　患者サポートセンター

入退院支援係長　熊倉　慎治　様

もしプロアドバイザー登録状況
所属先エリア・所属種別・職種の割合グラフ

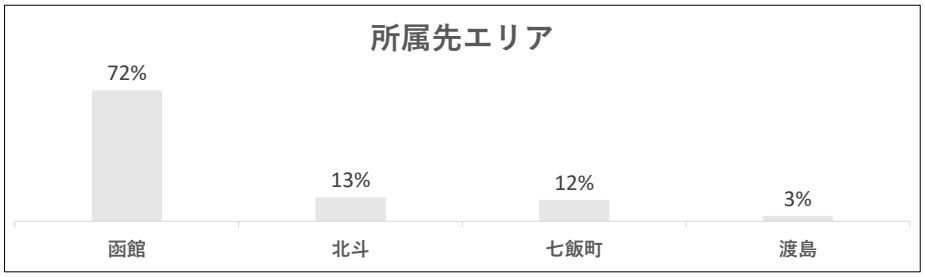
資料4

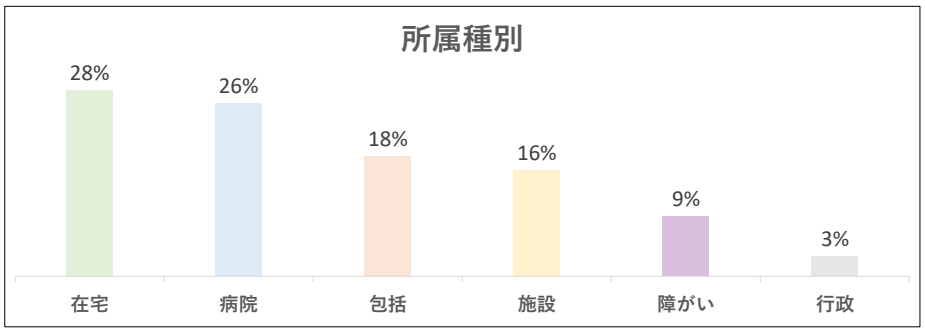
所属先エリア	
函館	49
北斗	9
七飯町	8
渡島	2

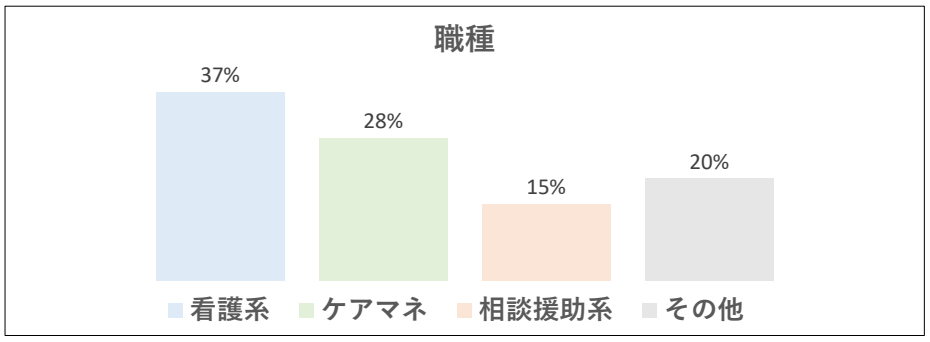
合計 68名

所属種別			
在宅	居宅介護支援事業所	10	19
	訪問看護ステーション	8	
	訪問介護事業所	1	
病院	入院医療期間		18
包括	地域包括支援センター	7	12
	地域包括支援係（行政機関）	5	
施設	特別養護老人ホーム	3	11
	軽費老人ホーム	3	
	小規模多機能型居宅介護事業所	2	
	サービス付き高齢者向け住宅	1	
	介護老人保健機関	1	
	介護機関	1	
障がい	障がい福祉機関		6
行政	行政機関		2

職種			
看護系	看護師	21	25
	保健師	4	
ケアマネ	主任ケアマネジャー	1	19
	ケアマネジャー	18	
相談援助系	医療ソーシャルワーカー	4	12
	社会福祉士	3	
	精神保健福祉士	1	
	相談員	4	
その他	介護職員	3	12
	介護福祉士	1	
	サービス管理責任者	1	
	生活支援員	1	
	児童指導員（放課後等デイサービス）	1	
	保健所職員	1	
	理事長	1	
	事務員	3	







資料5

第３回 もしもノート 研修会

もしプロアドバイザー
研修会修了証明書を発行





申込定員５０名

【申込】
Google
フォーム



【参加者】
函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者
および函館市の障がい福祉関係者

【内　容】〈地域で取り組むACP〉
①講演 ②２人ワーク ③グループワーク

日　時

令和８年１２月１４日(月)
18：30~20：30
（受付18：00）

場　所

函館市医師会病院
（5階講堂）
函館市富岡２丁目－１０－１０

お申し込み・お問い合わせ　ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp
函館市医療・介護連携支援センター 担当 森田 ☎０１３８-４３-３９３９

はこだて医療・介護連携サマリー見直しや効果等の意見について

資料6

函館市

	施設種別	利用状況	意見	センターからの返答案
1	居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	使っている	家族構成図（ジェノグラム）	家族構成図（ジェノグラム）につきましては、現在「基本ツール②」に記載する欄を設けておりますので、そちらをご活用いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。
2	居宅介護支援事業所	使っている	病歴の欄がもっとほしい	病歴の欄につきましては、基本ツールに書ききれない情報は、お手数ですが「特記事項⑲」に記載していただくようお願いいたします。
3	地域包括支援センター	使っている	見づらい	本サマリーは、アンケートにおける「1枚にまとめてほしい」とのご要望を考慮してレイアウトを決定しております。 視認性（見づらさ）が気になる場合は、入力時に文字サイズの変更など、各自でレイアウトを調整（カスタマイズ）することが可能です。情報量に応じて適宜サイズ等を調整してご使用いただくよう、改めて皆様へ周知いたします。